

日米投信概況

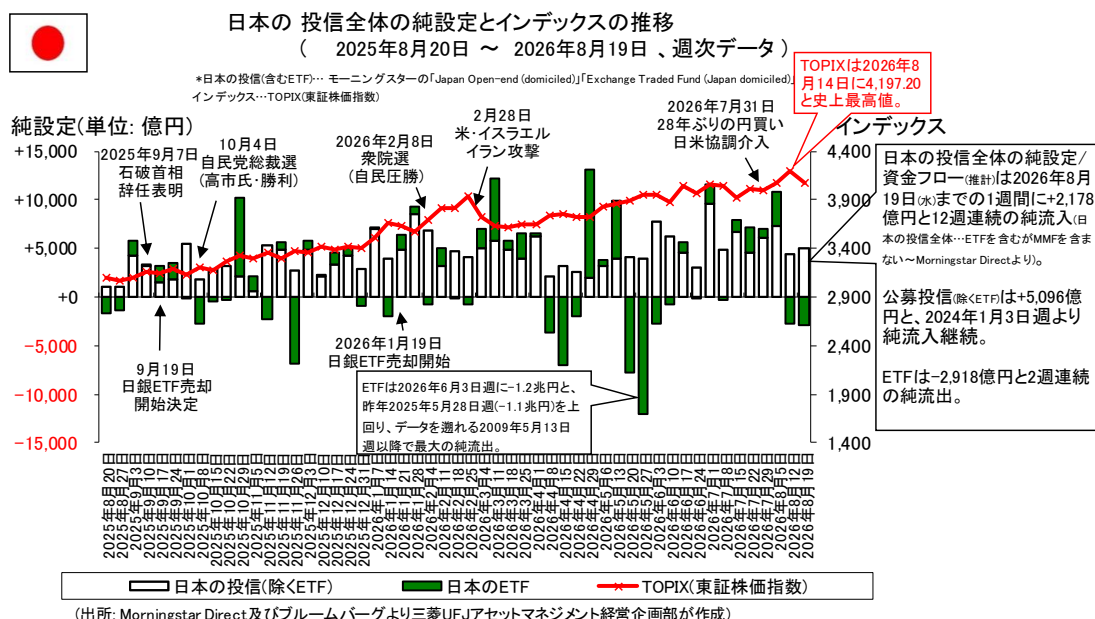
日本と米国で金(ゴールド)ファンドの買い手が戻ってきている！ ～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出入動向～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部 松尾健治 (シニアリサーチアナリスト)
窪田真美 (シニアリサーチアナリスト)

- 日本では日本株ファンドが9週ぶりの純流出となる中、金(ゴールド)ファンドの買い手が戻ってきている！……………p.1
- 米国では日本株ファンドが4週連続純流入となる中、日本と同様、金(ゴールド)ファンドの買い手が戻ってきている!!
～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出入動向～……………p.3

●日本では日本株ファンドが9週ぶりの純流出となる中、金(ゴールド)ファンドの買い手が戻ってきている！

日本籍投信全体の純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年8月19日(水)までの1週間に+2,178億円と12週連続の純流入(日本籍投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Direct)。公募投信(除くETF)は+5,096億円と、2024年1月3日週より純流入継続。ETFは-2,918億円と2週連続の純流出。



公募投信(除くETF)の2026年8月19日週の純設定額+5,096億円について分類別に見る。

純流入1～3位は、グローバル株、米国株、グローバル株-日本を除く。

純流出1～5位は、トレーディング-レバレッジド/インバース、日本株大型グロース、インド株、ヘルスケア株、日本株中小型株グロース。



日本の投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順)

2026-08-19現在

*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	World Equity	+253,412	+170,545	+876,251	36,858,547	グローバル株
2	US Equity	+143,869	+77,515	+405,802	38,327,696	米国株
3	World ex-Japan Equity	+54,611	+16,162	+151,928	20,696,970	グローバル株-日本を除く
4	Moderately Aggressive Allocation	+23,237	+12,145	+81,447	7,254,824	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
5	Japan Large-Cap Blend Equity	+15,814	+46,706	+93,104	10,862,157	日本株大型ブレンド
6	Sector Equity Technology	+13,350	+33,663	+184,089	13,331,522	テクノロジー株
7	Moderate Allocation	+12,388	+5,387	+40,377	5,140,091	モデレート・アセットアロケーション
8	Aggressive Allocation	+11,431	+6,054	+36,423	1,722,658	アグレッシブ・アセットアロケーション
9	Commodity	+10,193	+26,328	+43,213	3,734,797	商品
10	World Bond	+9,027	+15,281	+42,031	2,234,334	グローバル債
11	Japan Large-Cap Value Equity	+5,528	+9,011	+36,974	2,913,945	日本株大型バリュー
17	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	+2,366	+2,242	+7,662	2,024,084	日本株中小型バリュー
25	Japan Specialty Equity	+720	+1,716	+6,886	859,278	日本・特定テーマ/セクター株
34	Japan Small/Mid-Cap Blend Equity	+205	+20,832	+27,182	517,011	日本株中小型株ブレンド
76	Tactical Allocation	-1,137	+302	-537	1,864,584	タクティカル・アロケーション
77	World Bond - JPY Hedged	-1,249	+10,343	+11,513	1,731,337	グローバル債-円ヘッジ
78	World Equity - JPY Hedged	-1,657	-1,391	-5,598	557,999	グローバル株-円ヘッジ
79	Japan Bond - Bond IT	-1,957	-4,063	+15,580	447,205	日本債-公社債
80	US Equity - JPY Hedged	-2,580	-3,387	-10,913	506,651	米国株-円ヘッジ
81	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-2,688	-1,768	-6,221	1,085,999	日本株中小型株グロース
82	Sector Equity Healthcare	-2,974	-1,315	-9,384	853,666	ヘルスケア株
83	India Equity	-8,376	-6,242	-35,096	2,348,679	インド株
84	Japan Large-Cap Growth Equity	-23,087	-7,531	+166,521	9,484,478	日本株大型グロース
85	Trading - Leveraged/Inverse	-25,401	-9,314	-19,549	897,867	トレーディング-レバレッジド/インバース
全85分類の合計		+509,575	+449,104	+2,295,319	209,903,030	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		-3.06	+2.29	-0.51		
S&P500		-0.49	+0.34	+2.87		
MSCI ワールド		-0.60	+0.56	+2.98		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

日本株は2026年8月19日週に-11億円と小幅ながら2026年6月17日週以来9週ぶりの純流出だ(←2026年8月12日週

+712億円←8月5日週+1,962億円←7月29日週+658億円(世界の日本株投資については、2026年8月3日付投信調査レポートNo.461「日本株を買う外国人投資家～世界のファンド投資家の日本株投資動向:米欧のグ

ローバルETFや米国の日本株ETFが買い、日本の日本株ETFが売る～」～ https://www.asmf.jp/report/investigate/report_260903.pdf)o

金(ゴールド)など商品は2026年5月中旬から6月にかけての純流出から反転、2026年8月12日週に+263億円と2026年4月1日週以来の大きな純流入。最新2026年8月19日週は+102億円と7週連続の純流入。

ビジネスインサイダー/ジャパン/Business Insider Japanは2026年8月13日に「金(ゴールド)投資家が再び買いに転じており、金相場の反発に新たな勢いをもたらす可能性がある。ワールド・ゴールド・カウンシル(World Gold Council)が先週発表したデータによると、**世界の金価格連動型上場投資信託(ETF)は7月に30億ドル(約4800億円、1ドル=160円換算:以下同)の資金を集め、2カ月連続の流出に歯止めをかけた。** 保有残高は23メートルトン増加し、4068トンとなった。…(略)…。7月は**欧州が主導し、金ETFは20億ドル(約3200億円)を集め、今年2番目に強い月間流入**を記録した。一方で、**北米の流入はわずか7100万ドル(113億6000万円)にとどまった。**…(略)…。一方、**アジアのファンドは7月に6億1600万ドル(985億6000万円)の金ETFを購入**した。投資家の回帰は、今年初めに金の相場が急転換したことを受けたものだ。…(略)…。**欧米投資家が本格的に戻れば、市場に新たな需要の柱が加わる**可能性がある。特に北米は、7月の小幅な流入を経て、まだ追いつく余地がある。」(強調下線は当レポート筆者、2026年8月13日付Business Insider Japan「金(ゴールド)の買い手が戻ってきている。次に何が起きるかが、ラリーの行方を左右する可能性がある」

～ <https://www.businessinsider.jp/article/2608-gold-price-today-forecast-outlook-ef-investors-europe-america-demand/> と世界の金ETF動向を中心に報じている。

以上の記事を裏付ける世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出入動向を後述する。

●米国では日本株ファンドが4週連続純流入となる中、日本と同様、金(ゴールド)ファンドの買い手が戻ってきている!!～世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出入動向～

米国籍投信の週次純設定/ファンド(マネー)フロー推計は2026年8月19日までの1週間に+403億ドル/約6.4兆円と8週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-93億ドル/約1.5兆円と28週連続の純流出。一方、ETFは+496億ドル/約7.9兆円と8週連続の純流入(継続的なミューチュアルファンド

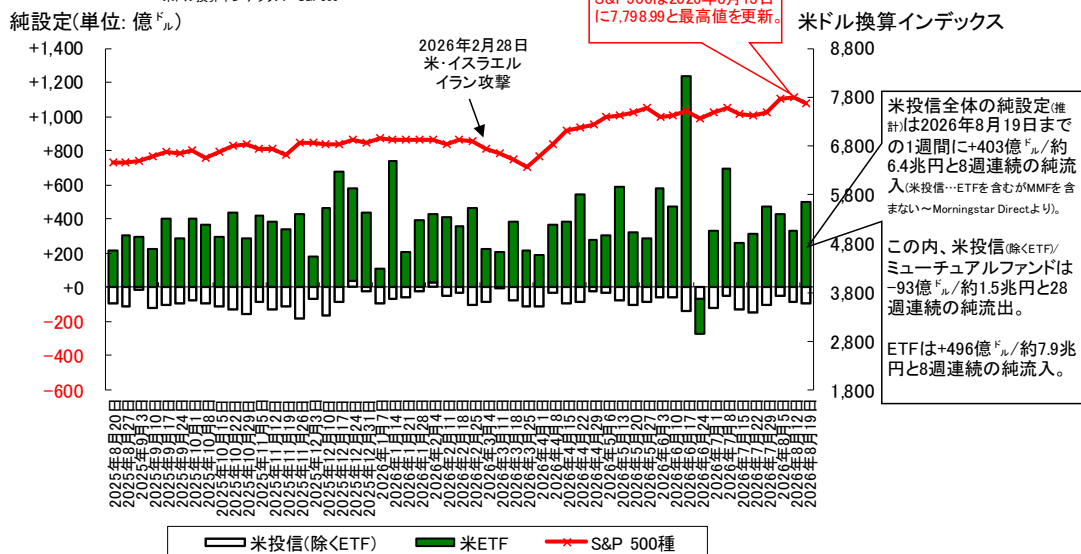
の純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ <https://www.am.fund.jp/report/investigate/column/231127.pdf>)



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2025年8月20日～2026年8月19日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2026年8月19日週の投信
全体(含むETF、除くMMF)純設
定額を分類別に見る。

純流入1～3位は米国大
型ブレンド株(S&P500連動な
ど)、米国超短期債、米国
大型グロース株。

純流出1～3位は、トレー
ディングレバレッジ株式
(ブル型)、金融株、地域・
フォーカス。

米投信の分類別週間純流入(純流入の大きい順) 2026-08-19現在
*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント経営企画部)
1	Large Blend	+21,041	-6,120	+33,759	6,260,642	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	Ultrashort Bond	+3,585	+3,378	+12,996	535,170	米国超短期債
3	Large Growth	+1,993	+9,892	+14,331	2,366,043	米国大型グロース株
4	Commodities Focused	+1,674	+2,591	+5,060	318,269	商品・フォーカス
5	Derivative Income	+1,669	+613	+5,480	207,132	デリバティブ・インカム
6	Corporate Bond	+1,508	+917	+1,154	212,363	社債
7	Foreign Large Blend	+1,467	+1,291	+5,781	1,684,357	外国大型ブレンド株
8	Intermediate Core-Plus Bond	+1,454	+415	+3,395	704,174	米国中長期コアプラス債
9	Long Government	+1,342	+599	+1,456	143,713	米国長期国債(6年超)
10	Foreign Large Value	+1,325	+1,608	+4,797	314,238	外国株大型バリュー株
19	Digital Assets	+386	+597	+1,034	107,429	デジタル資産(ビットコイン等)
35	Japan Stock	+173	+369	+977	58,018	日本株
112	Mid-Cap Value	-280	-236	-742	347,626	米国中型バリュー株
113	Natural Resources	-288	+83	-855	83,656	天然資源関連株
114	Small Value	-315	+1,063	+750	293,949	米国小型バリュー株
115	Consumer Cyclical	-342	-27	-36	38,139	シクリカル消費財株
116	Real Estate	-365	+71	+35	113,462	米国REIT
117	Mid-Cap Growth	-599	-1,366	-3,548	134,860	米国中型グロース株
118	Consumer Defensive	-612	+621	+531	26,764	ディフェンシブ消費財株
119	Focused Region	-809	+518	+3,439	101,917	地域・フォーカス
120	Financial	-1,945	-663	-1,200	107,122	金融株
121	Trading--Leveraged Equity	-2,313	+187	+242	165,768	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
全121分類の合計		+40,369	+23,923	+139,388	25,381,528	
指数名		リターン※ 最新週(%)	リターン※ 前週(%)	リターン※ 4週(%)		
TOPIX (東証株価指数)		-3.06	+2.29	-0.51		
S&P500		-0.49	+0.34	+2.87		
MSCI ワールド		-0.60	+0.56	+2.98		

(出所: Morningstar Direct 及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント経営企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドルベース、配当込み指数)。

日本株は2026年8月19日週に+1.7億^{ドル}/約270億円と4週連続の純流入(←2026年8月12日週+3.7億^{ドル}←8月5日週+0.4億^{ドル}←7月29日週+3.9億^{ドル}←2026年6月17日週以来の大きな純流入)。 米国株は2026年8月19日週に+232億^{ドル}/約3.7兆円と2026年7月8日週以来の大きな純流入となっている(←2026年8月12日週+3.3億^{ドル})。

日本でも純流入が続く商品/Commodityは米国でも純流入。 金ETF等の「商品・フォーカス/Commodities Focused」は2026年4月中旬から7月にかけての純流出から反転、2026年8月12日週+26億^{ドル}/約4,100億円と2月25日週以来の大きな純流入。 最新8月19日週は+17億^{ドル}/約2,700億円。 2026年8月19日に**米財務省は、より強力な流動性支援を提供するため、9月9日から長期国債の買い戻し規模を2倍に拡大する計画を発表、これをうけて金(ゴールド)の価格はビットコインと共に急騰した。**

米国マーケットウォッチ/MarketWatchは2026年8月22日に「通貨安トレードでは、金や銀といった貴金属に加え、ビットコインなどの一部の仮想通貨も上昇する。 その背景には、持続的な財政赤字とインフレがドルの価値を低下させ続け、投資家が金のような実物資産に避難先を求めるようになるという考えがある。…(略)…。ファクトセットのデータによると、**金を保有する人気ETFであるSPDRゴールド・シェアーズは8月19日に13億^{ドル}の資金流入を記録し、これは1月中旬以来の最大の1日当たりの資金流入となった。**」(強調下線は当レポート筆者、2026年8月22日付MarketWatch「Why an announcement from the Treasury sparked a rally in gold and bitcoin this week」<https://www.marketwatch.com/story/why-an-announcement-from-the-treasury-sparked-a-rally-in-gold-and-bitcoin-this-week-d9d972b>)

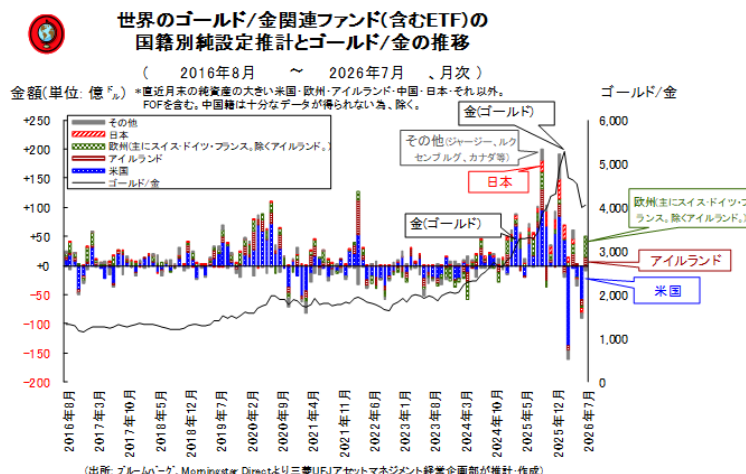
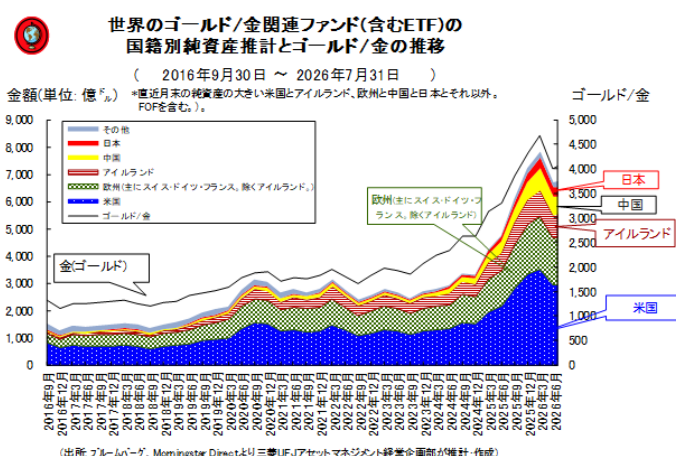
とやはり金ETF動向を報じている。

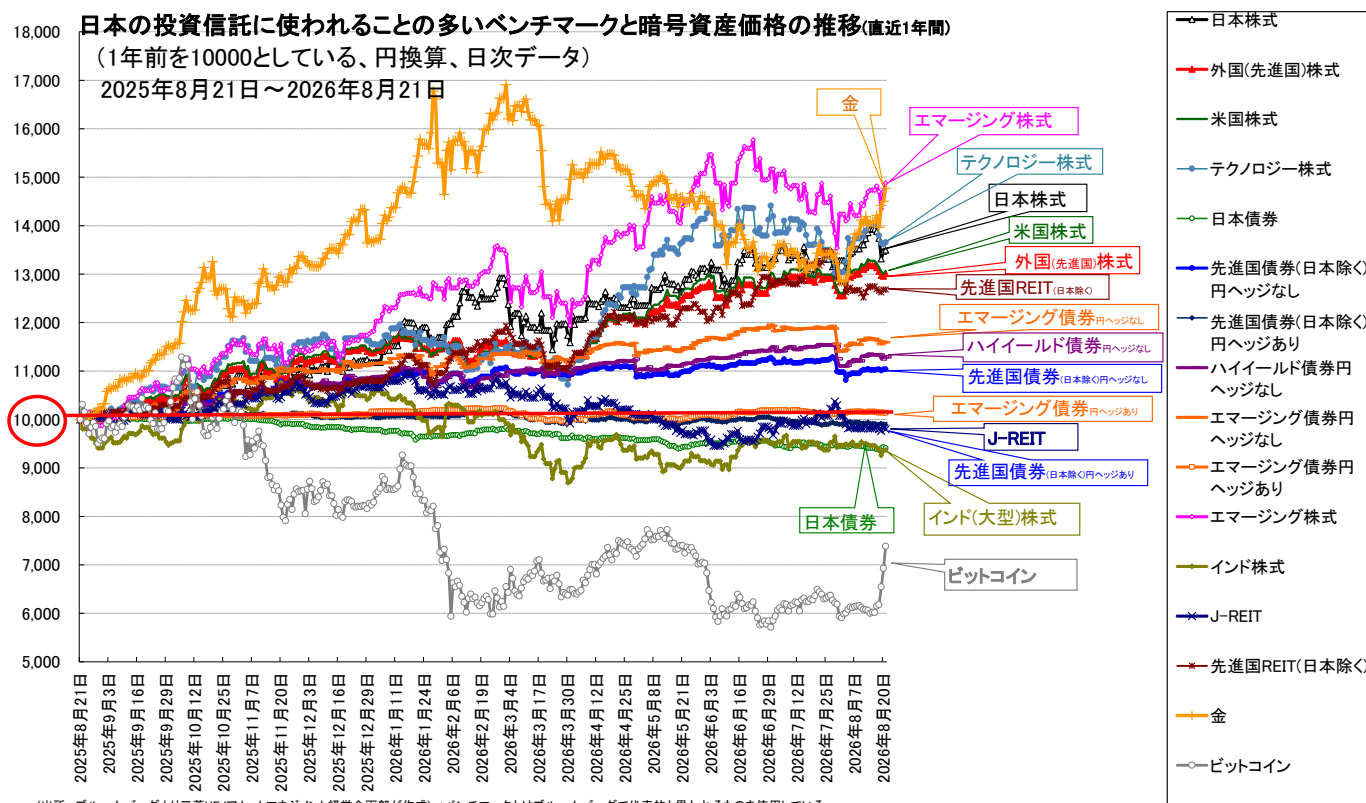
米国ベンジナ/BENZINGAは2026年8月22日付「ブリッジウォーター・アソシエーツの創業者であるダリオ氏は、米国の債務危機に対する潜在的なヘッジ策として、投資家は**債券の保有比率を引き下げ、ポートフォリオの10%から15%を金に割り当て、さらに少量のビットコインを保有することを提案している**」(強調下線は当レポート筆者、2026年8月22日付BENZINGA「Ray Dalio Says Dump Bonds, Buy Gold: 4 ETFs in Focus as US Debt Risks Rise」<https://www.benzinga.com/etf/bond-us-equity-etfs/26/08/4136578/ray-dalio-says-dump-bonds-buy-gold-4-etfs-in-focus-as-us-debt-risks-rise>)

と報じている。

最後に世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)流出入動向を見る。

世界のゴールド/金関連ファンド(ETFを含む)の純設定は2026年7月に+41億^{ドル}/約6,500億円と3か月ぶりの純流入(中国籍は純設定データが十分に得られない為除く)。 2026年1月(+192億^{ドル})の年初来最大純流入から急速に鈍化、純流出となっていた。 国籍別では2026年7月に**欧州とアイルランドが純流入の中心を占め、日米は純流出が急速に縮小**している。 先述p.2で引用した2026年8月13日付Business Insider Japanの記事、「世界の金価格連動型上場投資信託(ETF)は7月に30億^{ドル}の資金を集め、2カ月連続の流出に歯止めをかけた。…(略)…。7月は欧州が主導し、金ETFは20億^{ドル}を集め、今年2番目に強い月間流入を記録した。 一方で、北米の流入はわずか7100万^{ドル}にとどまった。」にかなり一致しており、Business Insider Japanが言う様に、欧米投資家が本格的に戻れば、市場に新たな需要の柱が加わる可能性がある。





以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 経営企画部シニアリサーチアナリスト

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

MSCI ワールド インデックス、MSCI ジャパンに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会